

明 だ よ り



平成二十九年二月定例会が、二月二十二日～三月十七日まで開催されました。私は、三月七日に一般質問に登壇しました。お忙しい中、傍聴においでくださった皆様ありがとうございます。今回は

一 千里浜海岸再生
二 ジビエ
三 相続未登記農地

について質問しています。また、県議会では、スポーツ推進を目的とした「石川県スポーツ推進条例(仮称)」を議員提案しようとしています。条例の素案を作る検討委員会の委員としても活動しています。

こういったことを中心に私の活動や県政の話題についての話題をお届けします。県政に対する疑問や要望、議会でも取り上げてもらいたいことなどお気軽に事務所までご連絡をいただければ対応させていただきます。

千里浜海岸再生

今年で、千里浜再生プロジェクトが始まって六年です。そこで、これからの展望を聞きました。

・人工リーフについて

羽咋地区での整備を引き続き、今年度進めていく。羽咋地区では、今浜に設置したもののよりも幅の小さいものを従来より沖合に出して設置したところ、これまで言われていた人工リーフの南側が侵食されるといふ設置の副作用が抑えられたとのこと。

これは余談ですが、人工リーフと海岸の間の海では、今年ヒラメが豊漁だったそうです。漁業関係者によると、人口リーフが漁礁のような役目を果たし、小魚が集まってきた、それを食べにヒラメが集まってきたのではないかとのことでした。こういった事業の周

りへの影響という悪影響が指摘されることが多いですが、こういった良い効果もあるのもPRすべきでないでしょうか。

・サンドバックについて

今年度、一部に高さの低いものを設置したところ、従来ほど景観も悪くならず効果も一定の成果が得られた。引き続き、すべてのサンドバックを高さの低いものにし検証をしていくとのこと。

引き続き、事業の進み具合を注視していきたいと思えます。

ジビエについて

イノシシ肉関連製品を、羽咋市がふるさと納税の返礼品として採用したところ一番人気だという報道がされていきました。イノシシ肉は珍しいモノ、山の珍味といった意識がまだ強いかと思えます。

食肉関係や飲食業関係の方とイノシシ肉について意見交換する機会があり、次のような話を聞きました。

・イノシシ肉は、普段使いする食肉としては値段が高すぎる。
・自然のもの相手だから仕方ない部分もあるが、肉質が安定しなすぎて扱いづらい。

田んぼや畑を荒らすイノシシ駆除の動機づけのためにイノシシ肉の食肉利用は進められている面が強いですが、肉を扱う方の声もすくい上げて施策を進めていくべきでないかと問題提起しました。

また、肉だけでなく骨や皮も利活用していかなければなりません。



羽咋市で売っているイノシシ肉

スポーツ推進条例(仮)

石川県でのスポーツ振興を目的とした「石川県スポーツ推進条例(仮称)」を議員提案で制定するために、昨年から県議会内で検討委員会が設置されています。その検討委員として、議論に参加し、検討を重ねています。

もう少しで、議会としての案を確定し、県民の皆さんの意見を反映させる予定となります。

今回の条例は、

・スポーツを「する」
・スポーツを「見る」(プロスポーツを観戦する等)
・スポーツを「支える」(スポーツ施設の充実や選手育成等)

といった様々な視点から、県内のスポーツを推進するものとなっております。

先のオリンピックで活躍した県内出身選手に続くような選手の育成や、プロスポーツに使用できるようなスポーツ施設の整備など、条例を契機にスポーツ関連の施策が充実するようにしていかなければなりません。



条例案の参考のため北陸学院大学を視察

神子原が景観形成重点地区に

羽咋市の神子原地区が、石川県の『景観形成重点地区』に指定される方向で検討されています。神子原の「風光明媚な棚田」・「白壁、黒瓦の残る集落」「棚田と集落の調和した里山」が、保全していくべき景観ということで選定されたようです。地元の魅力が認められると嬉しいですね。

もし指定されれば、珠洲市『奥の里海 日置』能登町『春蘭の里』につづいて県内三か所目となり、景観を守るため、高さのある建築物や地域の開発行為などは現行よりも厳しい規制がかかり、地区全体の景観を守っていくこととなります。

羽咋市の里山の象徴的な地域である神子原地区の価値が「石川県の里山の象徴」として認められるとともに、末永く里山の景観が保たれることを願うものです。



目指せ 地域と行政のパートナー

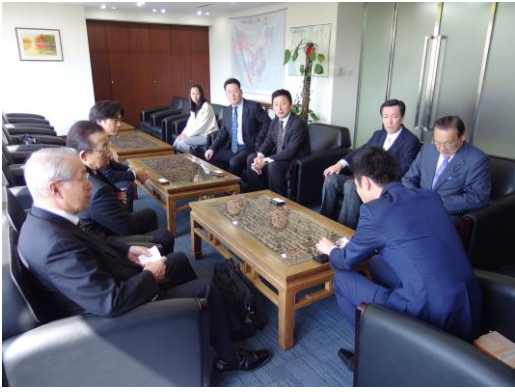
中国視察

三月末に、会派で中国の上海・深圳・蘇州を視察してきました。日本国内の報道を見ると「中国の経済成長に陰りが」といったものがよくありますが、実際に中国に進出している石川県の企業や、現地でも本食レストランを展開している現地企業などを訪問して、経済活動を行っている立場から見た中国の実態をお聞きし、見てこようということで行ってきました。

まず、上海行ってみて驚いたのは日本よりデジタル技術の活用が盛んだということ。スマートフォンを財布代わりに使ういわゆる「おサイフケータイ」が盛んで、財布を持ち歩かない若者が多いそうです。また、乗り捨てできる街乗りの自転車が行っているようですが、乗るときにスマホをかざして利用料の決済をスマホで行うシステムです。

また、中国の消費者の意識も変わってきているというお話も聞きました。現地に進出している企業の話や、進出した当初よりも中国の労働者の働く姿勢や考え方が変化してきているとのことでした。また、最近、労働環境や公害等の環境問題を中国政府や地方政府も重要視しているようで、工場からの廃水や工場内での労働環境などで査察などに来ることがあるという話も聞きました。

中国全土から見れば訪れたのはほんの一部地域ですが、「百聞は一見にしかず」というように実際に見聞きすると、日本国内で報道などで見聞きするのと違った印象を受けますね。今回の視察で得られた気付きや問題意識などを今後の議会活動に活かしていきます。



北國銀行の現地駐在所長と意見交換



小松精錬の現地法人を視察

以前から指摘されてきた自転車道の街灯設置について、現地を視察してきました。この自転車道は、地元高校生が通学用に使っていることも多く、学校やPTAから街頭設置の要望も出されています。生徒の安全確保という点からも、県や市と連携し、早期に実現したいと思っています。



羽咋駅～釜屋町の自転車道を櫻井市議と視察

懸案事項になっている長者川の改修について現地を視察してきました。以前から、まとまった雨が降ると増水し危険性が指摘されてきた箇所です。住民の安全安心に関することです。石川県や羽咋市に要望し、早期に実現にこぎつける様にしていきます。



長者川を浅野市議・松永市議と視察

議会以外でも活動しています。このような活動については、しっかりと実のある活動しているのか、住民としては関心のあることであるのかと思います。これらの活動で見聞きしたことや勉強したことについては、ご要望があれば報告会などを行い、お伝えしたいと思えます。

そこまでかしまったものでなくても、本吉事務所『みやげ話』はいつでもさせていただきます。お気軽にお立ち寄りください。

本人不在の場合もございいますので、本吉に直接お話しされた場合は、事前に事務所まで連絡していただくとありがたいです。

より良い地域を作るために皆さんの御意見を願います。



本吉きよと HP では、今回の内容もさらに詳しく、本人の思いもさらに熱く載っています！
アドレスはこちら → k-motoyoshi.jp

質問への要望や、県政に対する疑問がありましたら、本吉きよと事務所までご連絡ください。それらを調査し応えていくことを議員活動の基本としています。

本吉きよと事務所
〒925-0035
羽咋市本町コ 129-1
坂本ビル
TEL : 0767-22-0557
FAX : 0767-22-0655

